放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

討議年月日：令和　2年　9月　24日

公表：令和　2年　9月　30日　　事業所名 ピュアハート

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		勉強部屋・指導室・遊び部屋等、支援目的別に部屋を提供しています。	
	2	職員の配置数は適切である	○		必要配置数以上の職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		バリアフリー化については検討中
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝礼や全体ミーティングでPDCAサイクルを意識した話し合いをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		アンケート結果を考察することで保護者の意向を把握し、業務改善に活用しています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページで公開中。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		内部評価により常時業務改善に努めているので、第三者による評価等は考えていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		学習支援研修・虐待防止研修等さまざまな研修を実施し、職員に参加させています。	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的なアセスメントを行い、都度計画を修正・変更しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		今後標準化されたアセスメントツールの導入を検討しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		学習支援担当・発達支援担当等のチームを作成し、支援活動を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		学習支援は様々なツールを使用し、日・週・月単位で支援内容を変更しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		平日・学校休業日による支援時間の長短により、課題の設定・支援内容の設定を行っています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		学習を中心とした個別活動と定期的に行う集団活動を組み合わせた支援を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		業務開始時に朝礼を実施し、その日の支援について確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		支援終了後は、職員個々で振り返りを行い情報共有しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日報・連絡帳等の記録を残し、支援に活用しています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的なモニタリングを行い、都度計画を修正・変更しています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	○		学習支援・集団活動・個人活動など多岐に渡る支援を行っています。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○		ご利用者様の学校送迎時に、教員の方々との情報共有に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		現状その必要性があるお子様は通所していません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現状その必要性があるお子様は通所していません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現状その必要性があるお子様は通所していません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		今後研修に参加する機会を増やすことを考えています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		ご利用者様の要望があれば、実施したいと考えています。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している		○		（地域自立支援）協議会の活動はありません。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		保護者の方との情報共有を、送迎時の会話・連絡帳・手紙・電話・メール等さまざまな方法で行っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている	○		学習支援・発達支援についてのアドバイスを保護者に対して行っています。	

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者の方のご要望・お悩みには、迅速に対応策・解決策を提示しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		ご利用者様の要望があれば、実施したいと考えています。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		全職員が苦情対策への対応は熟知しており、管理者・児童発達支援管理責任者が責任を持って対応しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		ホームページを利用した情報発信を考えています。
	35	個人情報に十分注意している	○		個人情報の扱いに関しては、児童発達支援管理責任者の判断のもと適切に行われています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		会話・連絡帳・手紙・電話・メール等さまざまな方法での情報伝達により配慮しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		必要とあらば、実施していきたいと考えています。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		ホームページを利用した周知を考えています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止責任者を選任し、虐待防止に取り組んでいます。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		身体拘束は安易に行うことではないとの認識で支援を行っています。また、身体拘束の可能性がある場合、事前に保護者の方への説明をし、ご理解を得ています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		現状その必要性があるお子様は通所していません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成し、全職員が閲覧できるようにしています。	